令和3年度 事務事業評価シート(1)

「令和2年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	Ě			
事務事業名	女性教育振興事業				事業番号	007-043				
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	男女共同参阅	画センター				

I. 基本情報												
事	業の位置	付け										
	m+++	施策	有·無	戦略	4.人や企業をを惹きつける都市魅力 ~Attractive~ 施策 (8) 女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍							
	堺市基本	との 関連	有	取組の方向性	③女性が活躍できる社会の実現							
	2025	計画 寄与 2025 する		指標名	_							
1	2023	9つ KPI	無	現状値	ー 目標値 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー							
1	.m. t	施策との	有·無	ゴール	ゴール(5)ジェンダー平等を実現しよう ターゲット 5.1							
	堺市SDGs 未来都市	関連	有	取組	男女共同参画に関する啓発							
	計画	寄与 する	有·無	指標名								
		KPI	無	現状値	ー 日標値 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー							
2	関連計画			第5次	2男女共同参画基本計画・第4期さかい男女共同参画プラン							
3	事業開始	年度			平成 30 年度 終了(予定)年度 令和 7 年度							
	実施根拠			男女夫	キ同参画社会基本法・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律・女性の職業生活における							
4	(根拠法	令、条	例等)	活躍の	活躍の推進に関する法律・堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例							
事	業の概要	Ē										
5	事業の実施 (実施主体			出先機	機関(男女共同参画センター)							
6	5 事業の対象 全市民(約83万人)、堺市在勤・在学の方											
7	7 事業の目的 (事業実施によりめざす状態) 女性教育により女性の知識・資質・能力を高め、地位向上と社会参画を図る。											
8	事業内容 (目的を通 段) ※スケジュー 段、事業規	を成する -ル、実が	施方法・ヨ	※令 ・女性 講座	ボールズデー記念事業:女性の人権問題の解決やDV対策などの講演会や上映会を実施 和2年度は感染症対策のため中止 のためのステップ・アップ・スタディ:女性のための就職・社会参加支援事業として、所作やコミュニケーション術などの を実施 ビリーダー養成に係る意見交換会へ参加							
	※国・府の施した内容				_							
9	主な支出先				-							
10	公民連	連携・協	働事業	堺市女	女性団体協議会と連携した研修会を実施							

Ⅱ.事業目的の達成状況

	<u> </u>										
事	事業の成果や活動実績の測定										
	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実	績	目標	目標 終了(予定)年度				
	成未相保(日刊の建成代元を制定)	半位		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度				
	女性の再就職や社会参画を支援する		目標値	300	200	200	300				
	講座をはじめ、女性の新しい生き方を	人	実績値	261	31						
11	支援する講座等の延べ受講者数		達成率	87%	16%						
	当該指標を選定した理由	女性の自己研鑽、自己実現を支援し、ジェンダー平等意識を醸成する講座等の受講者数の増加は、女性の 地位向上、社会参画の推進に寄与するため。									
	目標値の設定根拠・算出方法	受講者	度は感染症対策による各	S講座の定員削減等の	ため目標値を変更)						
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実	績	目標					
	` '			令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	女性の再就職や社会参画を支援する		目標値	4	4	4					
	講座をはじめ、女性の新しい生き方を		実績値	4	2						
12	支援する講座等の実施回数		達成率	100%	50%						
	当該指標を選定した理由	女性の自己研鑽、自己実現を支援し、ジェンダー平等意識を醸成する講座等の実施回数は、受講者数の									
	コの沿水で送えびご生田	増加に寄与するため。									
	目標値の設定根拠・算出方法	方法 講座実施回数から算出									

事務事業名 女性教育振興事業 007-043

Ⅲ. 投入量

事業コスト (単位:千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	- 現 日	決算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	81	133	214	27	213
	国支出金					
13	財府支出金					
	<mark>源</mark> 市債					
	<mark>内</mark> その他 ()					
	訳 受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	81	133	214	27	213
14	人件費 (b)	34	34	50	50	50
15	年間経費(c)=(a)+(b)	115	167	264	77	263

事業費の内訳 (単位:千円)

		項目	年	度	事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源
	事業費内訳	謝礼金	R2	決算	17	17		R2	決算		
		初九並	R3	予算	67	67		R3	予算		
			R2	決算	0	0		R2	決算		
		自地が負	R3	予算	6	6		R3	予算		
		消耗品費	R2	決算	10	10		R2	決算		
			R3	予算	27	27		R3	予算		
		その他使用料及び賃借料	R2	決算	0	0		R2	決算		
		CO他使用科及O·真相科	R3	予算	90	90		R3	予算		
		研修会等参加負担金	R2	決算	0	0		R2	決算		
		训修云寺参加兵担並	R3	予算	23	23		R3	予算		

IV. 事業の効率性

単位当たり経費

-					
		区分	単位	令和元年度	令和2年度
	1	女性の就職、新しい生き方等を支援する講座等の延べ受講者数	人	261	31
17	2	上記①にかかる年間経費	千円	88	17
	3	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	337	548
	備考	(算出についての説明等) 受講者1人に対しての経費。			

V. 評価

費用対効果に係る所見

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講座等の回数及び定員を削減し、単位当たりの経費が増加したが、受講者1人に対しての経費も低く、効率的に事業を実施できていると考える。

今後も、女性教育を効果的・効率的に推進し、知識・資質・能力を高め、地位向上と社会参画を図ることにより、女性の活躍やリーダーの育成を促進する。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

男女共同参画は国の最重要課題と位置付けられているが、各国における男女格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数2021」において、日本の順位は156か国中120位と低順位で先進国の中でも最低水準となっており、経済や政治分野でスコアが低くなっている。

- 19 本市では、下記講座等を実施し、受講生に対し啓発活動や意識改革等を図り、女性の地位向上と社会参画に寄与していると考える。 (堺市基本計画2025「4.人や企業を惹きつける都市魅力」に関連する取組)
 - ・女性の就職、社会参加支援の「ステップ・アップ・スタディ」を実施